

とちぎ高等教育推進まちづくり会議

平成28年度の取り組み状況等について

1 とち高高等教育推進まちづくり会議の会議開催経過等について

■ 会議開催

- ◇ 平成 28 年 5 月 19 日 ・第 1 回企画・事業部会開催
平成 27 年度先進地視察報告（佐賀・熊本）について、平成 28 年度総会議案について ほか
- ◇ 平成 28 年 5 月 26 日 ・とち高高等教育推進まちづくり会議総会開催
【平成 27 年度事業報告・決算及び監査報告のほか、
平成 28 年度事業計画・予算（案）決定、役員を選出について決定】
- ◇ 平成 28 年 7 月 27 日 ・第 2 回企画・事業部会開催
「地域発展に特に重要な人材像について」
各関係機関より、既存の人材育成事業の紹介 ほか
- ◇ 平成 28 年 11 月 9 日 ・第 3 回企画・事業部会開催
「地域発展に特に重要な人材像について」
各関係機関所管の人材育成事業棲み分けおよび課題整理、議論の中間とりまとめの方向性決定 ほか
- ◇ 平成 29 年 2 月 1 日 ・第 4 回企画・事業部会開催
「地域発展に特に重要な人材像について」
今後の議論の絞り込みと方策について、経営者ヒアリングの項目等について精査 ほか

（経営者ヒアリング）

「稼ぐ力の拡大に資する人材」に基づく、求められる能力・知識等のあぶりだしや、部会内で議論されている検討内容との照合を行うもの。以下、平成 28 年度実績。

平成 29 年 2 月 24 日 有限会社トヨニシファーム 代表取締役 小倉 修二 氏
2 月 27 日 サンテクノ株式会社 代表取締役 兼子 賢 氏
3 月 16 日 佐々木畜産株式会社 取締役食肉部長 佐々木 章哲 氏
3 月 27 日 アグリシステム株式会社 代表取締役 伊藤 英信 氏
3 月 30 日 株式会社とち製菓 代表取締役 駒野 裕之 氏

（平成 29 年度も継続）

■ 要望活動・視察等

- ◇ 平成 28 年 7 月 29 日 ○文部科学省（高等教育局ほか） ～ 帯広畜産大学の整備拡充に向けた要望活動
【要望】 運営費交付金の確保・・・一般運営費交付金、第 3 期中期目標・中期計画の推進に向けた機能強化促進に係る経費 など
教育研究施設の整備・・・図書館改修などインフラ整備への支援措置
- ◇ 平成 28 年 11 月 24 日 ○南大阪地域大学コンソーシアム ～ 産学協働人材育成機構の取り組みについて
11 月 25 日 ○兵庫県農政環境部農政企画局農業経営課 ～ ひょうご農業 MBA 塾の取り組み等について

2 帯広畜産大学と帯広市による主な連携事業等について

(1) 帯広畜産大学との協議

① 協議の場について

協議の場は、平成 17 年に締結した包括的連携協力協定に基づく連携協議会を活用し、同協議会の下に、全体企画調整を行う検討会議『地域発展に必要な高等教育の整備充実に係わる検討会議』を設置し、さらにその下に、テーマ毎に専門部会を設置し、具体的な協議、取り組みを進めている。

② 主な協議・打合せ等

- ・ フードバレーとかち人材育成事業
 - ◇ 平成 28 年度からビジネスコースの受講を大学院の単位として認定 ほか
- ・ ヒトと馬の絆による教育・研究・社会貢献事業（帯広市は馬のいるまちづくり共同事業として予算計上）
 - ◇ ちくだい馬フォーラム 2016 の共催 ほか
- ・ 若者が牽引するしごとづくり・まちづくりプラン推進事業
 - ◇ 十勝ジンギスカン会議 2016 開催 ほか
- 帯広市と帯広畜産大学との連携協議会（平成 29 年 3 月 29 日に開催）

(2) フードバレーとかち人材育成事業

○事業内容

- ◇ 「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業」(文部科学省補助事業、H19~23)で培ったノウハウを活かし、チャレンジ精神等を持って企業経営、異業種参入、起業化などの企業の発展、ひいては地域の経済発展に寄与するようなリーダーシップを発揮する人材を育成する。

■平成28年度カリキュラム

①ビジネスコース

- 【ねらい】新事業へのチャレンジや企業活動の効率化、競争力向上に必要な基礎的・応用的知識の習得
- 【内容】地域産業活性化に向けた経営論・実習、企業戦略論・実習

②食品安全管理コース

- 【ねらい】食品衛生管理に関する知識及び実技の習得
- 【内容】食品有害微生物講習

③農業生産者コース(自由選択講義プログラム)

- 【ねらい】これからの農畜産業に必要な知識を学ぶ
- 【内容】GAP(農業生産の工程管理)に関するセミナー

④特別講演・講習(一般公開)

- 【ねらい】食・農畜産業に関する最新の話題や技術を紹介するとともに、本事業における取り組みや成果を周知する
- 【内容】「食と農の課題」「食品衛生講習」

- ◇ このほか、修了生を対象に、新商品開発等の具体化を支援するため、事業化等に関する専門性を有するメンターによる事業案の作成支援や、各産業支援機関への橋渡し等のフォローアップを実施
- ◇ また、情報交換を通じた人的ネットワークの形成を目的として、道内3大学(北見工大、東京農大、畜大)で実施している、食品関連の社会人や学生向けの人材育成事業の参加者等を対象とした共同セミナーを実施。

(3) 馬のいるまちづくり共同事業

○事業内容

- ◇ 帯広畜産大学の知見を活かしながら、馬を活用した様々な活動による教育・研究・社会貢献の充実などの地域貢献とともに、人材の育成に努め、ひいては馬の研究拠点として地域の発展につなげることを目指す取り組み
(平成26年度より実施。ただし、障害者乗馬は民間団体に委託しながら以前より実施していたもの。)

■平成28年度の主な事業

- ・ 障害者乗馬：知的障害児を中心に、馬のふれあいや、乗馬教室を実施（参加人数：延 66 名）
 - ・ 適応指導教室の乗馬体験：不登校児らを対象とした教室のカリキュラム内で乗馬体験を実施（参加人数延 45 名）
 - ・ その他、イベントの共催（ちくだい馬フォーラム 2016）による市民への取り組み周知
- ※ 今後、大学の知見を活かした、介在・療育の取り組みが充実するよう、競技を重ねていく考え

(4) 若者が牽引するしごとづくり・まちづくりプラン推進事業

○事業内容

- ◇ 学生（ひと）が主体となって地域のしごとづくり、まちづくりに貢献するための事業を帯広畜産大学と連携して推進し、地域産業の競争力強化、中心市街地活性化等の地域振興に資するとともに、学生の地域愛を醸成して大学卒業・大学院修了後も十勝・帯広の応援団として一層活躍できる地方創生循環モデルを構築するものである。（平成27年度より実施）

■平成28年度の主な事業

- ・ 地元企業と学生との共同研究を通じた地域産業強化支援（小型 UAV 空撮と GIS 解析を用いた草地更新に関する研究 など）
- ・ 中心市街地における学生活動の展開による地域活性化支援（十勝カレッジ SILO）
 - 4月13日まちなか講義室 ㈱一ノ蔵 名誉会長 浅見紀夫氏（約 60 名参加）
 - 8月12日まちなか講義室 モンゴル国立大学 准教授 NYAMKHUU BATDELGER 氏（約 80 名参加）
 - 8月16日十勝ジンギスカン会議開催（約 1,600 名来場、出店店舗数 18）

(5) その他 帯広畜産大学の主な動き（平成26年度以降）

- ◆平成26年2月28日 道内国立6大学との教養教育単位互換及び入学前留学生教育の実施に関する協定を締結
- ◆平成26年11月12日 米国ウィスコンシン州立大学マディソン校と学術交流協定を締結
- ◆平成27年4月 十勝カレッジ SILO(サイロ)開始
- ◆平成27年4月 グローバルアグロメディシン研究センター開設
- ◆平成27年10月23日 産業動物臨床施設竣工
- ◆平成28年4月～ 第3期中期目標・中期計画期間の開始
- ◆平成28年8月10日 十勝毎日新聞社と包括連携協定
- ◆平成28年10～12月 道東・十勝・帯広国際協力拠点設立20周年記念事業への参画
- ◆平成28年12月 「パラグアイオフィス」設置
- ◆平成29年1月 帯広畜産大学公式ロゴマークの採用
- ◆平成29年4月10日 リベラルアーツ講演会開催